

2023年度 あかしSDGs推進審議会(議事要旨)

日時	2023年(令和5年)11月13日(月) 17:00~19:00
場所	市役所議会棟2階 大会議室
出席者	坂下会長、中野副会長、井上副会長 飯塚委員、大村委員、川島委員、河村委員、木戸委員、崎野委員、四方委員、堂本委員、成田委員、西川委員、三宅委員、森川委員、山下委員、岩村委員、小田委員、小野委員、川下委員、西野委員、宮川委員
議事	あかしSDGs推進計画(明石市第6次長期総合計画)及びあかしSDGs前期戦略計画(明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期))の推進状況について
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1 あかしSDGs推進計画(明石市第6次長期総合計画)及びあかしSDGs前期戦略(明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期))の推進状況について ・参考資料1 グループワークの進め方について ・参考資料2 あかしSDGs推進計画(明石市第6次長期総合計画)[2023年度(令和5年度)実行計画]
事務局	佐野副市長、高橋政策局長、政策局企画・調整室

1 開会

2 市長あいさつ

- ・ 本審議会の皆さまにおかれましては、それぞれの分野で日頃より市政にご尽力いただき、心より御礼申し上げます。
- ・ あかしSDGs推進計画(明石市第6次長期総合計画)及びあかしSDGs前期戦略計画は、本審議会の皆さまの参画の下で策定し、2022年4月から両計画がスタートしている。SDGs推進計画では、SDGsをまちづくりの基軸に位置付け、2030年のありたい姿を「SDGs未来安心都市・明石～いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで～」としている。また、前期戦略計画では、施策展開、5つの柱や優先的に取り組む具体的な施策や重要業績評価指標(KPI)を定め、ありたい姿の実現に向けての施策を展開しているところである。
- ・ 両計画がスタートして1年半が経ち、今年度が検証の1年目となる。本審議会の皆さまのご意見を多くいただけるよう、今回はワークショップ形式とした。本日はまちづくりに関する忌憚のないご意見をお願いしたい。

3 審議会委員あいさつ及び市出席者の紹介

4 議 事

(1)あかしSDGs推進計画(明石市第6次長期総合計画)及びあかしSDGs前期戦略計画(明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期))の推進状況について

※事務局から資料説明(資料1)

(2)意見交換(グループワーク)

・3グループに分かれて、意見交換を行った

・【テーマ①】現在のまちづくりで評価できる点、改善が必要な点

・【テーマ②】テーマ①で出た点を今後どうしていけば良いか

※【テーマ①】及び【テーマ②】について出た意見は、別紙(模造紙データ)参照

・まとめ

(会長)

・ 各グループで出た意見について、進行役を担った副会長から共有をお願いします。

(A副会長(Cグループ))

- ・ 明石の良い点としては、空き地になったところに住宅が増え、若い世代が転入してきて、市民活動を担う人も出てくるなど、人口増加によりまちに活気が出ているという意見が出た。また、朝霧駅、明石駅、大久保駅周辺のハード整備が進んだ点、中学校の制服がパンツスタイルも自由に選べるようになったり、市の標準制服も選べるようになった点、オレンジサポーター養成講座が活性化している点、子育て世代への支援が充実している点が、評価できるとの意見であった。
- ・ 課題としては、転入者が増えたために、地域での絆づくりが必要ではないか、そのためには行政による意識改革が必要という意見が出た。また、財政基盤の健全化が必要だという意見や、ごみの減量化のためにゴミ袋の有料化が必要ではないかという意見、市民意識調査をもっと短い間隔で実施する必要があるという意見、女性の働き方支援、働きやすい労働環境の整備が必要ではないかという意見、一部の地域で道路状況が悪いといった意見が出た。

(B副会長(Bグループ))

- ・ 明石市は人口が増え、明石市の子育て支援施策に効果があるのは確かだが、その後の支援の充実を図ってほしい。例えば、子育てが終わった後も住み続けられる、若者に対する支援として、中高生の給食や医療に改善の余地があるという意見が出た。また、明石に住み続けたいと思うためには、出会いの場をさらに設定し、出生率を向上させることが必要ではないかという意見が出た。

- ・ また、ごみの減量に対する意見も多く出た。ごみを出さない、生ごみを乾燥させて減量化する、コンポスト化の徹底等、ごみを焼却するのではなく、ごみを徹底的に減らすという意識に変えた方が良いという意見等である。
- ・ さらに、観光の振興や明石市に移住してもらった人が起業できるようなベンチャー支援をすることで、市の税収を増やし、明石をさらに発展させることを考えてはどうかという意見が出た。また、プラネタリウム、時の記念日などを活用した賑わいを増やす対策をしてほしい。
- ・ 防災に関しては、近年、災害の規模が大きくなる中、要配慮者をどう支援していくか等、防災に関する支援も必要であるという意見が出た。

(会長(Aグループ))

- ・ 私たちのグループも他の2グループと同様の意見が多く出た。それ以外としては、あかしSDGs推進計画を市民とともに作り、その後の進捗管理をしていくこと自体が良い取組だという一方で、進捗管理として示されているKPIや実際の事業を担当部署に細かくフィードバックした方が良いという意見が出た。
- ・ 課題としては、商業などの拠点づくりとなる開発が止まっているような印象を受けるところ、また、自治会の活動等の担い手として若い世代にもっと参加してほしい、様々な先進的な条例ができたけれども実際に実施されているのかという意見が出た。
- ・ 改善点としては、開発については県や近隣の市町村と良い関係性を築きながら協働して推進していくことが必要ではないかという意見が出た。まちづくり協議会等の役員の世代交代については、みんなが参加できるような祭りやイベント等を通して、住民が知り合う機会があればコミュニティの形成につながるのではないかという意見が出たほか、新規に建設する施設では障害者にもやさしい施設を整備してほしいという意見が出た。
- ・ また、防災については、防災訓練は充実しているが、要配慮者の人に情報が届いていないことについて、対策としてはやはり一人ずつお声がけしてつながりの輪をひろげていくことが、地道だけれども本質的なのではないかという意見が出た。

(会長)

- ・ それでは、各グループで出た意見全体に対して、両副会長からコメントをお願いする。

(A副会長)

- ・ 若い世代が転入しまちが活性化している点は評価できるが、一方で例えば、人が増えればごみが増えるといった、人口増加のメリットとデメリットを分けて考えていく必要があり、デメリットを軽減するために行政と市民が一体的に取り組んでいく必要があると思う。
- ・ また、子育て世代向けには明石市の施策は非常に高く評価されているが、今後は高齢者や障害者の方も幸せを感じることができるようなまちづくりを推進してほしい。

(B副会長)

- ・ 人口の入り口対策については、明石市は充実していて成果も出ている。
- ・ 今後は、転入者が増え、人口が増えた後にどうするのかという視点が重要である。明石市には目立った産業がない中、農漁業をどう維持するのかという点や、起業しやすい環境やルールを整備するという視点が抜けているのではないかという意見については、本当に指摘通りではないかと思う。
- ・ 市民と共に具体的に行動できることとしては、ごみの減量化だと思う。明石市が子育て支援で全国的に有名になったように、今度は明石市が新しいごみの減量化についての考え方を打ち出し、行政と市民が一緒になって力を合わせてごみの対策ができれば良いのではないかと思った。

(会長)

- ・ 本計画では、様々な施策やKPIを設定しているが、これが本当に適切かどうかということについて、細かくフィードバックし、内容を見ながら進めていけたら良いと思う。
- ・ SDGsの推進が市民全体に広がっているかという点については課題があると思っている。多くの方がSDGsを推進するためにはどうしたら良いのかと思っているため、例えば市ホームページのトップページ等でSDGsの推進について分かるようにしてもらえると良いのではないか。

(会長)

- ・ グループワークでは活発に意見を交換していただき、感謝申し上げます。まだ言い足りないことがあれば、模造紙に追加してもらいたい。
- ・ グループワークでの意見を聞いて、事務局から意見等あればお願いする。

(事務局)

- ・ まず、活発なご審議に感謝申し上げます。
- ・ 各グループでごみの問題についてご意見をいただいた。丸谷市長も市民の皆さんからの意見を聴くことを大切にしている。その中で、意見を聴く場として、月に一回「まるちゃんカフェ」という名のタウンミーティングを実施している。9月のタウンミーティングでは、テーマが「環境～ごみ減量～」であった。その中でも様々なご意見をいただき、新たにごみ減量施策として、広報あかしでもお伝えしているが、常設型古紙回収ボックスの設置や事業系機密文書の回収を今後進めていく予定である。それ以外にも、順次検討し、できることから進めていきたい。
- ・ また、SDGsの周知・啓発については、担当課としても悩みながら進めているところである。SDGsに関しては、SDGsに積極的に取り組む団体・学校・事業者等を登録するあか

しSDGsパートナーズ登録制度を開始し、パートナーズ登録団体と中心として進めている。今年度は「あかしSDGsウィーク」を実施し、一般の方が参加できる取組を行ったところである。

- ・ いただいたご意見を参考に今後の取組に生かしたいと思う。

(会長)

- ・ 以上を持って本日の審議会を終了する。円滑な進行にご協力いただき、感謝申し上げます。事務局においては本日の意見を生かした市政運営をお願いする。